



A1

118.1



左右両頁露光量調整、重複撮影

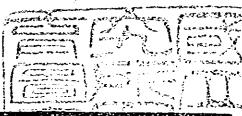
明治八年一月

小學入門乙號

文部省

小學入門乙號

右は圖



へ	い
と	ろ
ち	は
り	に
ぬ	ほ

左右両頁露光量調整、重複撮影

明治八年一月

文部省

小學入門二號

入門二號

圖書



へ	い
と	ろ
ち	は
り	に
ぬ	ほ

せ	み	あ	け
勢	ミ	ア	キ
す	し	さ	ふ
そ	志	は	ぬ
		急	こ
		き	お
		ひ	に
		ゆ	え
		も	て
		め	す

の	な	た	る
れ	れ	と	は
た	ら	れ	を
お	應	き	找
		く	わ
		む	ま
		ろ	ミ
		つ	ミ
		や	カ
		う	ラ
		ま	ル
		お	ヨ
		お	ミ
		ね	ミ
		お	ミ

五十音

ア	イ	ウ
キ	ク	ケ
サ	シ	セ
カ	チ	ツ

タ	ナ	ハ
チ	ニ	ヒ
ツ	ヌ	フ
テ	子	ヘ
ト	ノ	ホ

シ	ワ	ラ	ヤ
	井	リ	イ
	ウル	ユ	
	エ	レ	エ
	ヲ	ロ	ヨ

濁音

ザ	ダ	ガ
ジ	ヂ	ギ
ズ	ヅ	グ
ゼ	ヂ	ゲ
ゾ	ド	ゴ

十	五	一
百	六	二
千	七	三
萬	八	四
億	九	

數字

ハ	ヒ
ビ	ブ
フ	ベ
ヘ	ボ
ホ	

次清音

I	II	III	IV
V	VI	VII	VIII
IX	X	XI	XII
L	C	D	M

小學ノ用

六

大日本

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

小學ノ用

大日本

加算九九の圖

方言

四	三	二	一	一
五	四	三	二	二
六	五	四	三	三
七	六	五	四	四
八	七	六	五	五
九	八	七	六	六
十	九	八	七	七
十一	十	九	八	八
十二	十一	十	九	九
十三	十二	十一	十	十

五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九
十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一
十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二
十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	廿一	廿二	廿三

乘算九九の圖

一	二	三	四	五	六	七	八	九
二	四	六	八	十	十二	十四	十六	十八
三	六	九	十二	十五	十八	二十	二十三	二十五
四	八	十二	十六	二十	二十四	二十八	三十二	三十六
五	十	十五	二十	二十五	三十	三十五	四十	四十五
六	十二	十八	二十四	三十	三十六	四十二	四十八	五十四
七	十四	二十	二十四	三十	三十六	四十二	四十八	五十四
八	十六	二十四	三十二	四十	四十八	五十六	六十	六十四
九	十八	二十五	三十六	四十五	五十四	六十三	七十二	八十一

九	八	七	六	五	荅	卅	荅	四	罷
八	七	六	五	四	三	廿	廿	三	三
七	六	五	四	三	二	廿	廿	二	二
六	五	四	三	二	一	廿	廿	一	一
五	四	三	二	一	一	廿	廿	一	一
四	三	二	一	一	一	廿	廿	一	一
三	二	一	一	一	一	廿	廿	一	一
二	一	一	一	一	一	廿	廿	一	一
一	一	一	一	一	一	廿	廿	一	一
全	壘	壘	壘	壘	荅	卅	荅	四	罷

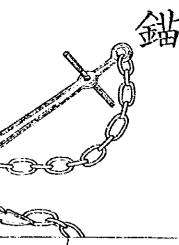
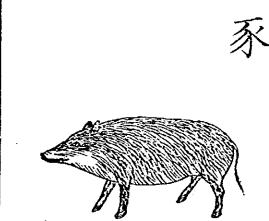
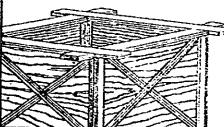
單語圖 第一

小學八門

文部省

井 人

井 線

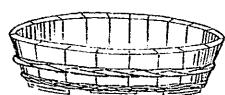


匕

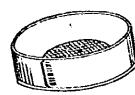
貝



鹽



篩



人

櫂



燭臺



筭



小學八門

九

文部省

工	工
榮螺	繪馬
笛	繪具
稗	槐

工	井
鰯	鳥居
枝	莞
榎	紫陽花

<b>ハ</b>	<b>ワ</b>		<b>エ</b>	
瓦	慈姑	第二	鞆繪	鼎
槲	轡		杖	家
鍬	鰯		机	苗

木

顏



竹

竿



酸漿



花牛牽



魚



才

斧



帶



鴛鴦



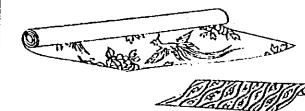
狼



折本



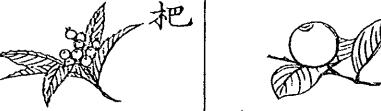
織物

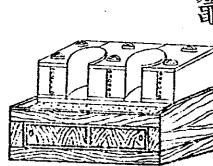
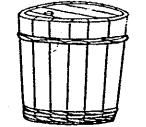
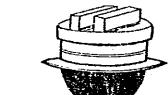
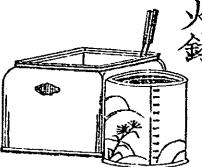
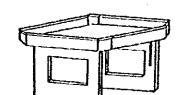


ヅ	ズ
鶲	雀
鯰	鼠
水呑	鈴

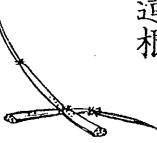
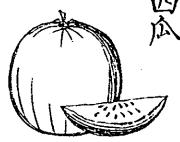
チ	ジ
紅葉	雉
鰺	虹
藤の花	富士の山

第三

蜜柑		桃	
石榴		栗	
葡萄		梨	
枇杷		柿	
稻		林檎	

	鍋		籠
	樽		釜
	升		茶釜
	火鉢		鐵瓶
	膳		土瓶

第四

	蓮根		筍		茄子
	薑		蕈		大角豆
	芋		葫蘿蔔		胡瓜
	牛蒡		胡蘿蔔		南瓜子
	葱		蕷		西瓜

簾窓	本
椅子	筆
鏡	墨
剪刀	紙
琴	硯

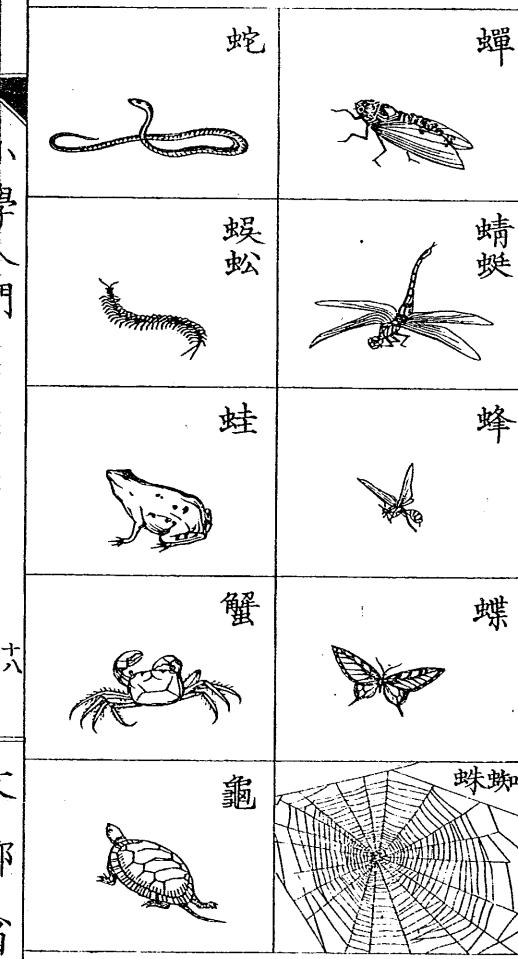
第五

杓柄	鍾	椀
手桶	杯	茶碗
桶	壺	皿
籃	庖刀	鉢
釣瓶	箱	德利

第六

	上衣		著物
	襦袢		羽織
	夜具		單衣
	帽		浴衣
	頭巾		袴

	傘		團扇		鼓太
	笠		算盤		行燈
	下駄		時計		提燈
	雪踏		磁石		煙草盆
	履		寒暖計		煙管



## 第七

十八

人門



人門

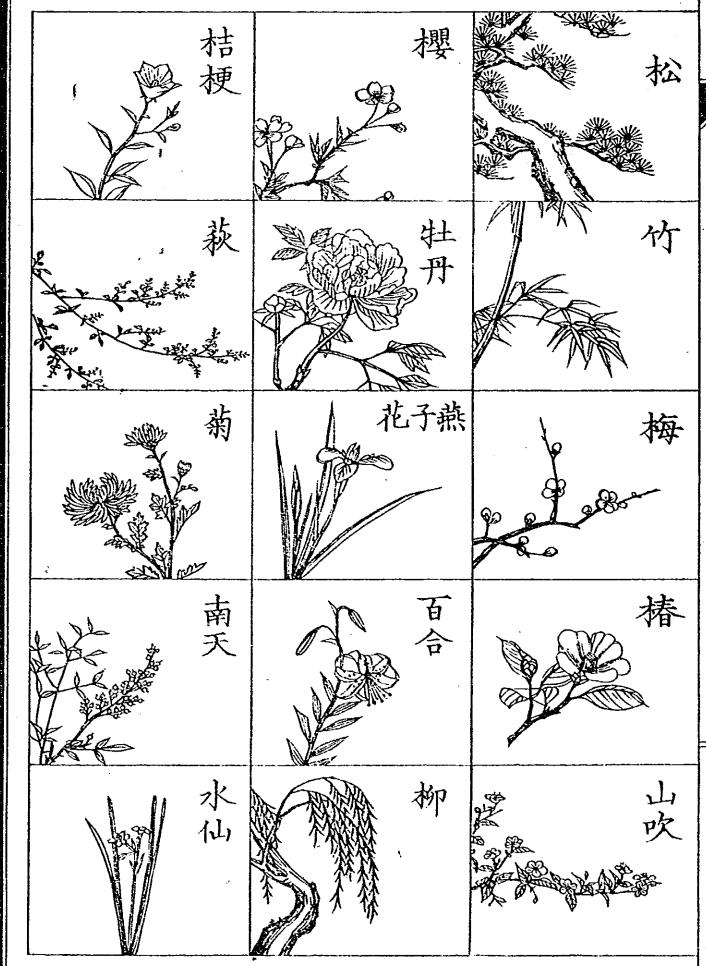
音 集

第八



十九

故鄉

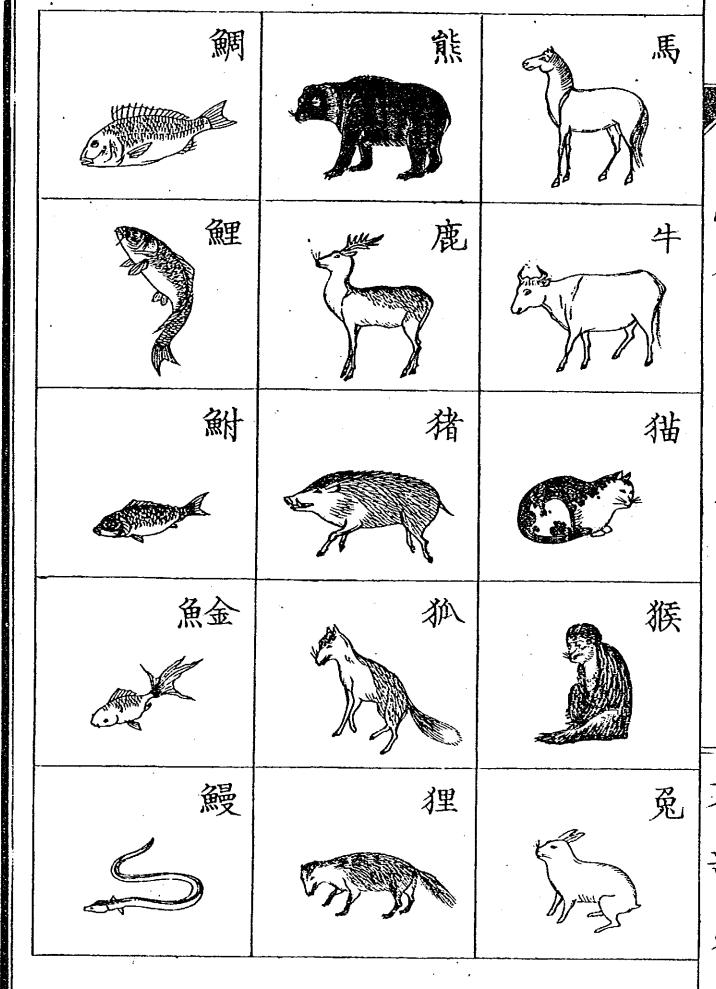


故鄉

連語圖

第一

神	人	天地	萬物	主宰	善道	信義
祖父	祖母	父母	伯父	叔父	伯母	
叔母	親子	兄弟	姊妹	親愛	友愛	
神ハ天地の主宰ヨリテ 人ハ萬物の靈ナリ○善道を以	て身を脩メ 信義を以て 人々交る○親子の間ハ 親愛を主	ト一 兄弟の際ハ 友愛を專とす○親の父を 祖父といひ 親の母	き祖母といふ○親の兄弟を 伯父叔父といひ 親の姊妹を 伯母叔母とす			



## 第二

學校 書物 手習 算術 事物 文字

授業 午前 午後 運動 遊歩

學校ふ出でハ書物を読み又手習すべ〇書物ハ事物の理を知り手習ハ文字の形を學ぶ〇授業の始ハ午前七時授業の終ハ午後三時なり〇読み書きの外ハ算術を學びベ〇遊歩を爲すハ運動のため〇運動を爲すハ氣を散ト體を養ふべ〇運動をハレバ又書物を読み手習一 算術を學ぶ

## 第三

其處 此處 何處 何時 往く 歸る 彼の此の彼  
是 近き 遠き 町里 朋友 親類 學問 智識 家業 富  
君ハ其處ニ居て書物を読み予ハ此處ニ在リて手習す〇  
彼の小兒ハ何處へ往キテヤ此の女子ハ何時歸リテぞ〇彼ハ近  
き處の朋友の宅ニ往キ是ハ遠き處の親類の家より歸る〇  
近き處ハ二三町ニ在ギ遠き處ハ五六里ニ餘リ〇彼の朋友  
常ニ學問を好み是の親類ハ能く家業を勵む〇學問を  
好めバ智識を増し 家業を勵めバ富を致シ

## 第四

地球 日月晝夜 今年 去年 春 夏 秋 冬 東 西  
南北 風 雨 霜 雪 寒 暑 雷 林 叢 花 開 蟲 鳴  
地球ハ日を周りて轉ド 月ハ地球ヨ隨ひて環る○日のある間を  
晝といひ 日の隠みて後を夜といふ○朝日のかゝを東と一夕  
の方を西とす○去年の秋ハ冷りて霜早く 今年の春を  
暖かくて 雨をくなす○春の日ハ林ヨ花開き 秋の夕ハ叢ヨ  
蟲鳴く○夏ハ南風多く 冬ハ北風多い○夏ハ暑くて をりく雷  
鳴り 冬ハ寒くて とろく雪降る○暑き時ハ草木茂り 寒き時ハ泉水凍

## 第五

穀類 魚類 獣肉 鳥肉 野菜 菓物 水 乳汁  
酒 烟草 養生 健康 勉強

日本の人ハ常ふ 穀類魚類を食へ 西洋の人ハ常  
ふ 獣肉鳥肉を食す○野菜ハ煮たるを食ふべく 菓  
物ハ熟せざるを食ふべからず○水と乳汁ハ健康を  
たすけ 酒と煙草ハ養生ふ害あり○勉強ハ健康  
より生り 健康ハ養生より來る○養生の人ハ食物  
と飲物をえらび 勉強の者ハ朝寝と晝寝を戒む

## 第六

衣服 木綿 麻 絹 毛織 單 挞子 補 綿入

襦袢 羽織 帽 褒 長靴 足駄 草履 履

衣服の料ハ 木綿あり 又 麻、絹、毛織あり ○ 暑き時ハ  
薄き衣服を著 寒き時ハ 厚き衣服を著る ○ 薄きハ  
單帷子モテ 厚きハ 補、綿入ナリ ○ 補ハ 合せたるもの  
綿入ハ 綿を入ミトロナリ ○ 肌ニ貼くるハ 裨袢モテ  
表ニ服モルハ 羽織ナリ ○ 帽をかぶり 褒を著る ○ 雨の時ハ  
足駄をもき 又 長靴をもく 晴の日ハ 草履を用る 又 履をもく

## 第七

大工 左官 家柱 壁 屋根 下地 軒 中塗 上塗 棚

押入 疊 建具 木 瓦 石 机 書架 墨 研 筆 紙

和漢 西洋 庭 池 春秋の景色 朝夕の眺望

大工ハ 家を造り 左官ハ 壁を塗る 家ハ 柱を立て 後ニ屋根をもき 壁ハ  
下地を作りて 後ニ土を盛る 屋根ナリ 軒をうけ 中塗ナリ 上塗を盛る ○ 棚押入を  
つけ疊建具を入れる ○ 我邦の家ハ 木を作り 西洋の家ハ 瓦石を疊む ○ 前ホ机を  
居裏後ホ書架を置く ○ 机ナリ 墨 研 筆 紙を載せ 書架ナリ 和漢西洋の書を積  
めり ○ 庭あまの花を裁み 池多く魚を畜す ○ 春秋の景色ナリ 朝夕の眺望ナリ

## 第八

起臥饑飽賢愚富貧老幼教問恥覺藝誨  
厭急緩走步躡疲無益有用珍賤弄棄  
朝ハ五時又起き夜ハ十時又臥ス○傳ハ時ハ勞を厭ハズ  
食キる時ハ飽くを求メば○賢き入ム事を習ヒ愚なる人より物  
を教フ○知らぬ事ハ知り「ト」る人より問ふを恥ぢ○覺え藝ハ  
覺えぬ者より誨言を厭ハズ○急よ走るときハ速けれども躡く  
ことあり緩く歩むときハ遲けりまどり疲きこと少一○無  
益の物ハ珍めずらと雖ま弄ぶがからば有用の品ハ賤いと雖ま棄べがからば

## 第九

前後左右勉惰難易早遲破堅固長  
短強弱優劣剛柔曲折撓逆

そぞての事ハ前ハのみハそぞば後ハ必れうそかなり左をのみあれば右を  
必ひきこなる○勉むると惰らぬこと惰ると勉めぬこと○勉むる時ハ  
かき事も成り易く惰る時ハ易きことも成り難い○早く成るものハ  
破きよく遲くなるものハ堅き固なり○長きおはれば反そ短きお劣る  
事ひ弱きを守まが遂ハ強きふ優まさりア○剛きものハ折きことひ柔なるものハ曲くことひ撓だ折ききか剛の德ハ曲くひ逆らがうハ柔の德なり

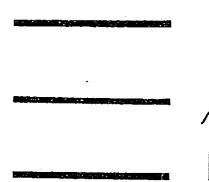
第十

方音圖

秤目へ 十毛を 一釐といひ ○ 十釐を 一分といひ ○ 十分を  
 一匁といひ ○ 千匁を 一貫目といふ なり  
 尺の名へ 十毛を 一釐といひ ○ 十釐を 一分といひ ○ 十分を  
 一寸といひ ○ 十寸を 一尺といひ ○ 十尺を 一丈といふ なり  
 升目へ 十才を 一匁といひ ○ 十匁を 一合といひ ○ 十合を 一升を  
 といひ ○ 十升を 一斗といひ ○ 十斗を 一斛といふ  
 地割へ 六尺四方を 一坪といひ 又 一步といふ ○ 三十步を  
 一畝といひ ○ 十畝を 一段といひ ○ 十段を 一町といふ  
 路程へ 六十間を 一町といひ ○ 三十六町を 一里といふ

線及度圖

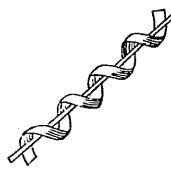
線直



線折



線螺



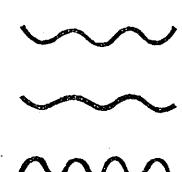
線曲



線渦



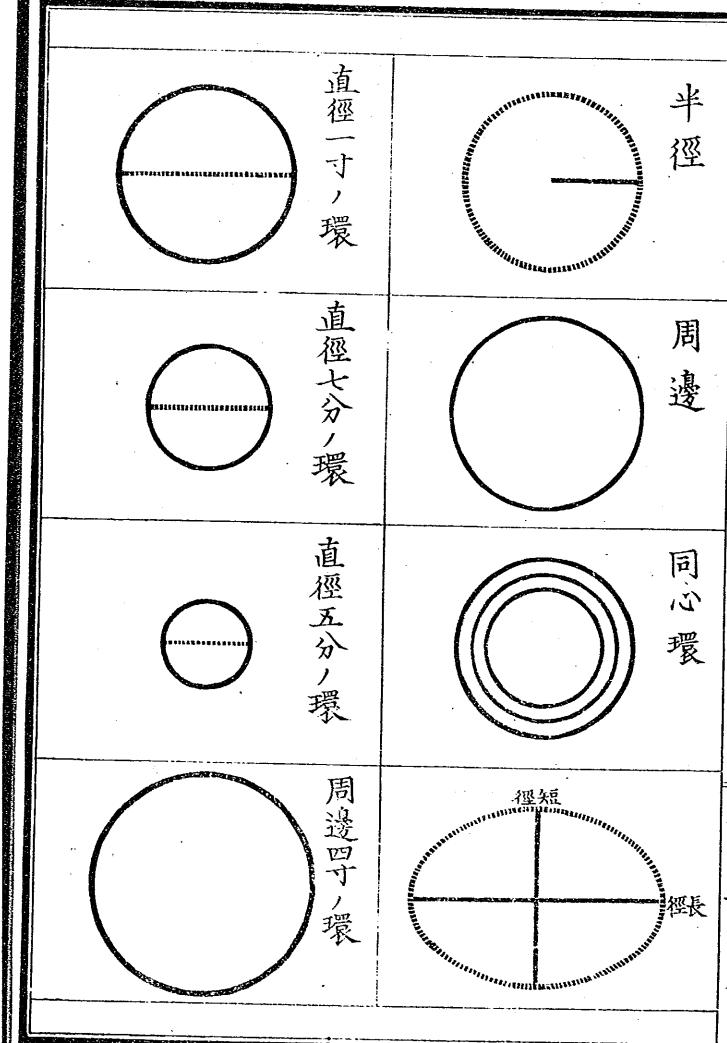
線波



線折	線直	線及度圖
線螺	線曲	
線渦	線波	

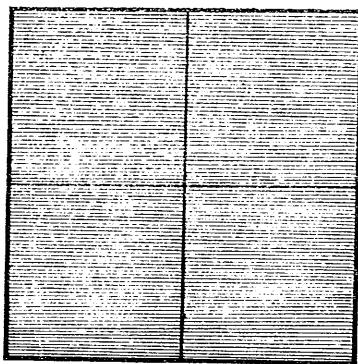
弧	角直
弦	角銳
徑直	角鈍

線角直	線縱
	 又垂線
線行並	線斜
線交聚	線平



二十七 頁欠

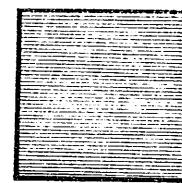
方平寸二



方平分五

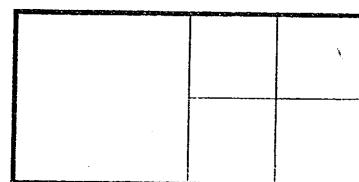


方平寸一

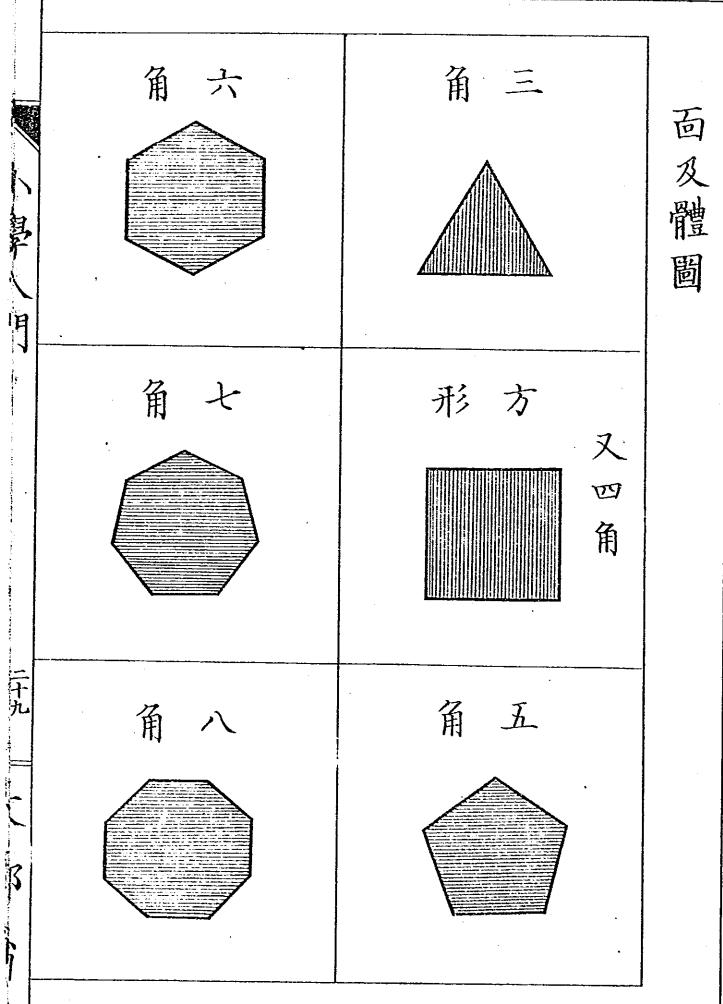


寸方平二

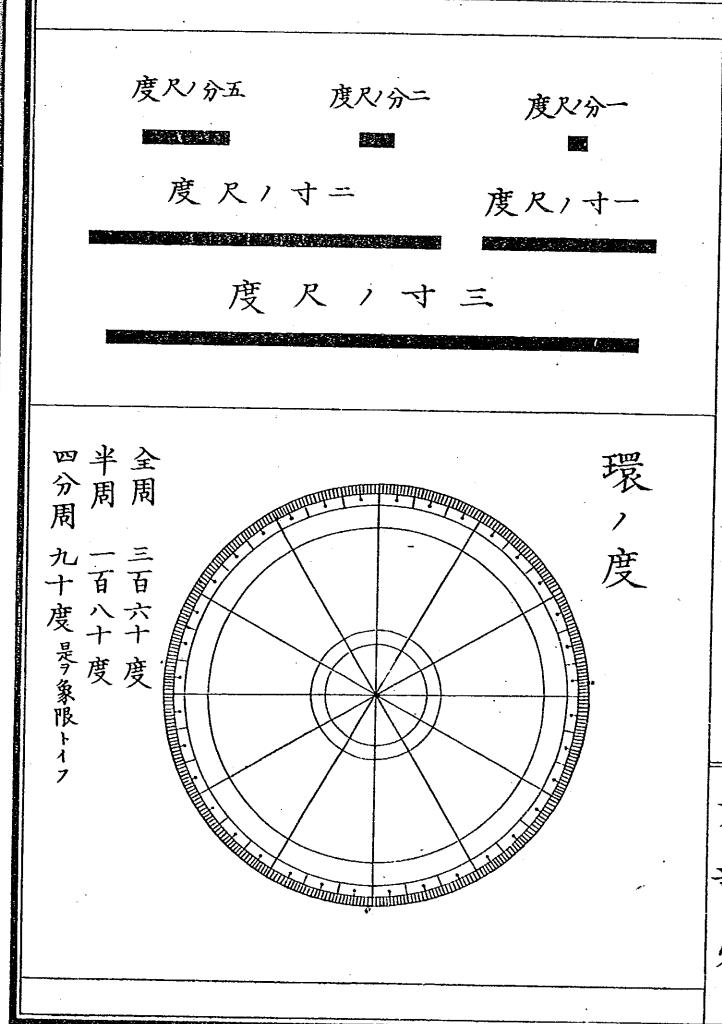
寸方平一/分二

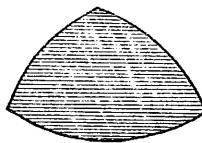
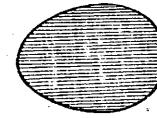
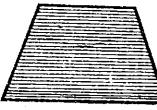


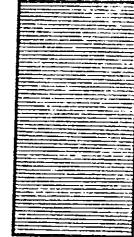
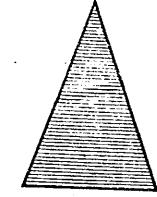
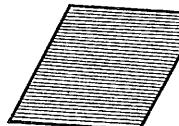
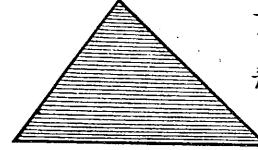
二六一四二八一四

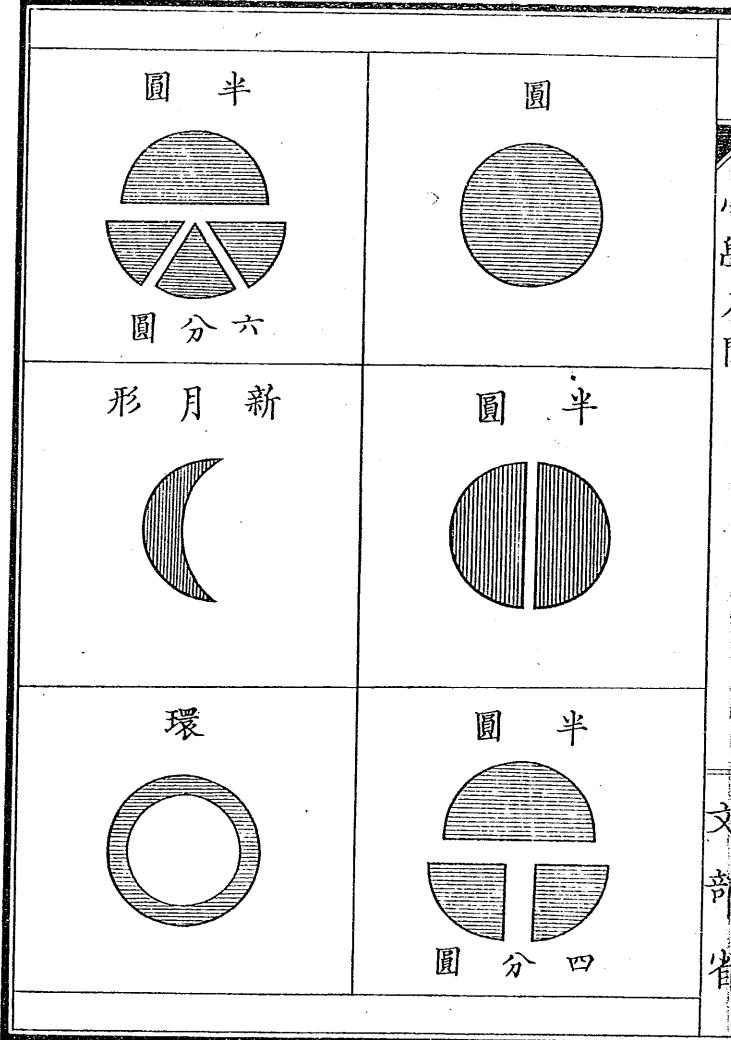
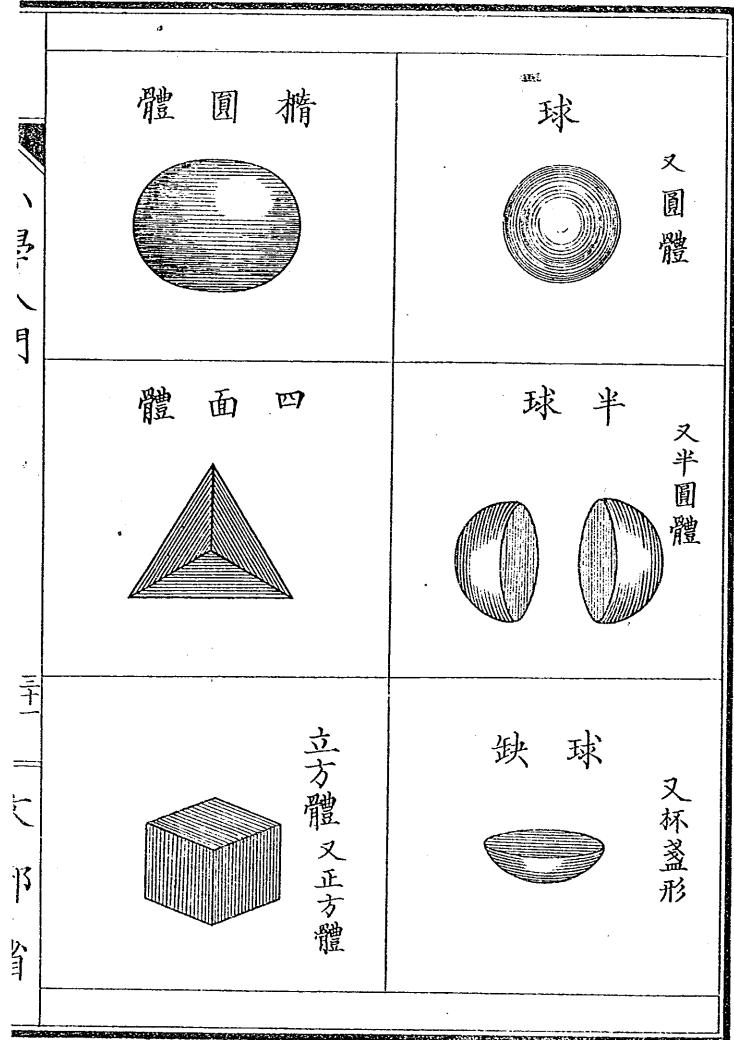


三九



形 三 弧 卵	形 斜 角 梯
	
	

長 方 形 斜	形 角 三 邊 等 不 又 三 角 形
	
	



K110-1.3

小學入門

文字書

三角柱 又三稜體



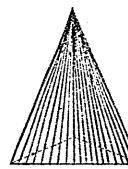
方柱 又長方體



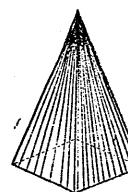
圓柱 又長圓體



三角錐體 又三瓣尖體



方錐體 又四瓣尖體



圓錐體 又尖圓體

